

羽生の未来のために。中島の「3つの政策理念」

①持続可能な世の中の構築を目指す。

話題作りを最優先するのではなく、市が抱えた問題を解決すべく政策を提案、推進する。そして、決して子供達にツケをまわさない。

②共生社会の実現を探求する。

人と人の絆を重視。地域や組織の力を最大限に活用。参加や協働による社会システムの構築を探求する。

③予算の有効化を追求する。

「予算を使い切る。」という発想から、成果、目的重視への発想の転換を推進。行政の生産性を高め、少ない予算で最大限の成果を目指す。



「市議会議員は名誉職」という時代はすでに終わりました！

普段は注目をされることが少ない市議会議員。しかし昨今、政務活動費の不正や問題ある言動がメディアで取り上げられ、世間を騒がせています。だからこそ、市議会、市議会議員の役割と存在についてもう一度考え、そして見直さなければなりません。時代は今、大きく変わろうとしています。行事と選挙の時だけ姿を現し、それ以外はどこで何をしているか分からない。思考を停止させ、議案は賛成ありき。そして説明責任も果たさない。そんな議員に羽生の未来を築くことは出来ません。

中島なおき（直樹）略歴

- 昭和47年11月6日生まれ A型 184cm 75キロくらい
- 埼玉栄高校普通科卒 日本福祉教育専門学校 社会教育学科卒 日本大学法学部政治経済学科卒
- 児童福祉施設指導員、社会福祉協議会職員を経て、
- H18年 若手政治家養成塾入塾
- H19年 市議会議員選挙に初当選(1,473票)
- H23年 市議会議員選挙2度目の当選(2,131票)
- H26年 羽生市長選挙に立候補するも次点落選
- 選挙後、家族の生活を守るため、民間企業に就職
- H27年 市議会議員選挙3度目の当選(2,639票)
- ▼第2期若手政治家養成塾 副代表
NPO法人 地方議会制度研究センター 副代表理事
- 家族：保育士の妻 長女(17歳) 次女(14歳)
- 趣味：ジョギング 山登り 家庭菜園
- 特技：ギター弾き語り(ミュージシャンを夢見たことも。)

自ら襟を正す！ 自らやってこそ言える！！

「5つの約束」

- ①議会レポートを作成、配布し続けます。
- ②議員活動を公開し続けます。
- ③議会報告会を行います。
- ④政務活動費の収支を全面公開します。
- ⑤議場にて正々堂々発言します。

力を合わせて 市政改革

中島なおきの「政治活動」を支えてください！

中島は「地盤、看板、カバンなし」。正真正銘、ゼロから政治活動を始めました。積極的に活動をすればするほど支出が増えるのが現実であり、常日頃から資金不足に悩まされています。中島の真面目でしがらみのない「政治活動」を支えていただける健全なカンパ(献金)を募集しています。合わせて、ボランティアスタッフも随時募集しています。連絡は下記まで。

【振り込み先】武蔵野銀行 羽生支店(普通)1028912 中島なおきを応援する会



初心を忘れずこれからも。「羽生を変える力」になる！ Become power to change Hanyuu !

羽生市議会議員 【無所属】

中島なおき

子供に
ツケを
まわさない!

Seesca BLOG

中島なおき

ほとんど毎日更新中!



中島直樹

平成31年 春 NO.69

再び全力で駆け抜けた4年間を振り返る！

H30年 春 卒業式で祝辞を贈る

H30年 春 臨時会で議長席に座る

H30年 冬 県庁知事室にて 上田清司埼玉県知事と羽生市の県事業について意見交換

H29年 冬 小中学生バスケットボール教室

H31年 冬 羽生市美術展授賞式

議長に代わって4つの部門の議長賞を授与

H29年 春

H30年 春 戸田市長選挙

H31年 冬 久しぶりにメディアからの取材依頼

埼玉県最年少市長の誕生に尽力!

H28年 夏

市議会有志で本田宗一郎氏の遺志を受け継ぐ生産現場を視察

H28年 冬

曙ブレーキ工業にて

市体育館で行われたバスケットボール教室にて 明治大学バスケ部の皆さんと

明石市へ 離婚後の養育支援を視察 一般質問を通じてこの施策の一部が羽生市にも導入

テーマは「明日を創る 日本を創る」

市議会有志で本田宗一郎氏の遺志を受け継ぐ生産現場を視察



羽生を変える力になる！ 再び全力で走った4年間。

市議会議員として、4年の任期をまもなく終えようとしています。

これまで、全ての定例会で質問席に立ち、本会議、常任委員会では誰よりも積極的に発言、政策提言を行うことを心がけてきました。そして、政策提言から具体的な成果を出すこと、人々から信頼される議会を創ることを念頭に置き、全力で議員活動に取り組みました。

そのことで、どのような具体的成果が生まれたのか。議会レポートに想いを込め、12万枚以上を配布。そして、ブログ、SNSを活用して情報発信に努めるとともに、毎年、議会報告会も行いました。

議員の活動によって、行政に、皆さんの生活に、どのような変化が起こっているのかを知っていただくことで、市政を、市議会を身近に感じて欲しい。そんな願いがあったからです。

今、時代は大きく変わろうとしています。しかし、行政には未だ「前例踏襲主義」が蔓延しています。少子化、高齢化が進み、人口は減少しています。社会全体が縮小していく中、「前例踏襲主義」では未来を築くことは出来ません。

人々が安心して生活できる羽生を創ること。

過去をきちんと清算し、
より健全に羽生を次世代につなぐこと。

それが私に与えられた使命です。

決して初心を忘れることなく、
これからも、羽生の未来を創るため、全力を尽くします。



羽生市議会議員 中島 直樹



富山県 射水市の保育施設を視察

市内企業も積極的に訪問！
(株)小島染織工業

市議会副議長として
埼玉県議会に
県道整備の要望活動

議場ではいつでも真剣勝負

これまで、全ての定例会で質問席に立つ。取り上げたテーマ

84
項目

政策提言！具体的成果の一部 (その他の事項は拙ブログをご参照ください。) H31年3月定例会まで

- 離婚後の子供の養育支援
- 生活保護費の不正受給対策
- 学校休日の際のAED設置不備
- 市議選の選挙公報紙面の見直し
- 公共施設の老朽化問題
- ご当地ナンバープレートを提案
- 市職員によるSNSへの不適切投稿
- ▶子供の不利益を最小限にするため市独自の冊子を作成
- ▶情報提供窓口をHP上に公開 対策強化
- ▶休日のAED設置状況の全面見直し
- ▶次回選挙から候補者一人あたりの紙面枠拡大
- ▶「広報はにゅう」にて紙面を大きく使い周知
- ▶原付バイクの市独自ナンバープレートが完成
- ▶モラル向上の周知徹底 研修会の開催 etc



4つの
改革

人々から信頼される「市議会」を創る。率先して取り組んだ

① 政務活動費の支出と領収書を全面公開へ

埼玉県議会議員の政務活動費不正受給事件を受け、人々から疑念を抱かれぬよう、領収書の全面公開を提案。H29年度分から市議会HPにて、全議員の支出と領収書を全面公開。

② 市議会議員として自覚と目的意識を持ち行政視察を行うことに対する決議

議員が視察先で騒動を起こす。悶々とした市議会の状況を収束させるべく、中島が上記の決議文を作成。前代未聞の騒ぎの末、定例会に上程。可決に尽力。このことをきっかけとし、行政視察報告書の作成と提出を義務付ける。行政視察報告書は市議会HPに全面公開。

③ 「市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」を作成し定例会に上程

上尾市の汚職事件を契機とし、議員が刑事事件の被疑者、または被告となり身柄を拘留される処分を受けた場合、報酬支給を停止。有罪確定では不支給。定例会を長期欠席した際は段階的に報酬を削減することを定めた条例案を中島個人が作成。定例会上程に対し、強く反対する議員の声があるが、無事可決。羽生市議会において、議員個人の条例作成は羽生市議会初！

④ 定例会、行政視察等の出欠状況の公開を提案

報酬を受け取っている市議会議員であるにもかかわらず、頻りに定例会等を欠席する議員がいることから、出欠状況の公開を提案。H30年12月定例会から市議会HPで公開。

くらべてください！ 誰にも負けない「確かな行動力！」

顔の見える活動を実践

① 定期的な早朝の駅頭活動 継続12年

情報公開 (H19年1月第1号~H31年3月現在69号)

② 配布した議会レポート 54万枚以上

説明責任の徹底

③ 議会報告会の開催 通算14回

政策実現を目指して 任期中登壇回数NO.1

④ 任期中44回の定例会 欠かさず質問席に

全面開示で透明性の確保

⑤ 政務活動費の支出をいち早く 全面公開

